

——宗教学研究室紀要編集委員——

氣多雅子	京都大学大学院文学研究科	教授
杉村靖彦	京都大学大学院文学研究科	准教授
美濃部仁	明治大学国際日本学研究科	教授
岩田文昭	大阪教育大学社会科教育講座	教授

——第12号執筆者紹介——

オリヴィエ・アベル	フランス・プロテスタント神学院（モンプリエ）	教授
末永絵里子	パリ10大学	博士課程
長坂真澄	大阪大学 日本学術振興会特別研究員	PD
長岡徹郎	京都大学大学院文学研究科	博士課程
内記洸	京都大学大学院文学研究科	博士課程
松葉類	京都大学大学院文学研究科	博士課程
吉野斉志	京都大学大学院文学研究科	博士課程
山内翔太	京都大学大学院文学研究科	博士課程

\*\*\*\* 編集後記 \*\*\*\*

今年度の研究室紀要においては、講演原稿一本と、七本の公募論文を掲載することができました。多種多様な思想家や問題関心に対する論文が出され、研究室の若手の活発な活動をお伝えできたのではないかと考えております。査読を担当していただいた先生方には、この場を借りて深くお礼申し上げます。

自分以外の原稿の校訂・編集に関わるのは久しぶりでしたが、テキストを公にするための作業にやり甲斐を感じました。ただ、液晶画面よりも印刷した方が見やすいため、作業のたびに印刷した紙が増えていき、電子データ化の裏の面として紙がまだまだ生き残ることを実感している次第です。

(内記洸・松葉類・吉野斉志記)

Articles

Les conditions philosophiques de la juste mémoire

Olivier ABEL 4

L'avènement du sujet chez Lévinas : la méditation sur la dialectique de l'il y a dans son retour et de l'hypostase dans sa différenciation

Eriko SUENAGA 24

La croix – ou la différence – qui biffe le mot « être » :  
À partir du cours de Derrida sur Heidegger (1964-1965)

Masumi NAGASAKA 62

The deepening of the problem of evil in Nishitani Keiji

Tetsuro NAGAOKA 80

Der Frage des Reinen Landes in Shinran

Takeshi NAIKI 98

Les deux pensées sur le tiers chez Levinas :  
« le tiers dans les yeux » et « le prochain d'un prochain »

Rui MATSUBA 118

L'Espace chez Bergson. Psychologie et géométrie

Tadashi YOSHINO 132

Le réveil de l'esprit - Essai sur l'origine bergsonienne de l'habitude

Shota YAMAUCHI 149